

七月十三日 勝云例に因るに因り解法とす

① 都田製子云坊

河云地 鳥取村西伯郡上道村

労働者 男二名 女八三名 計八五名

老幼者 女四〇名 男二名 計四二名

名田記伝述

七月十日 採料ノ担者ノ物之缺初シ各々八月七日ニ
至拂ノ物之欠匠時採業上ノ移ニ懲罰ノ多クシテ
其苦勞倍少クシテ毎月ノ金収亦想ノ如クトス之而カニ監督
大井カ免ノ是督送致テトク及或ク抱テ之カ夫代ヲ申込
一時作業ノ休ノ多ク令此例ノ恐極ニテ大井ノ持物
也ト云フトシテ解法トス

② 船田操業大井代村

河云地 鳥取村武庫郡御影町

労働者 四〇名

老幼者 三〇名

名田記伝述

八月十日 夜夜在立、計シ完如カシテ而カテ提出スルニ
一蹴ニテ十日間製業ノ断リテ於此高カシテ小高商
人ノ採中時務カ一ニ種強ク来リテ之ニテ採業ノ断
陸運ニシテ協同成之カメノ奥子十六名強為レ他ノ金却
他ノ採中ニシテ持出ニ採中者ノ怪前ノ労働条件ニシテ
採中ニシト申込ニ此段蛇足ニ流暢ノ云テ

要水査

一 糧食ノ明細ニテト